



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主要要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
6/17 (月)	+ 800	▲ 700	+ 100	国庫短期証券発行償還 (3M) 国債発行償還 (個人)	CP等買入 ▲ 100 国債補完供給 + 34,500		
6/18 (火)	トシ	▲ 2,000	▲ 2,000				欧: ユーロ圏CPI (5月)
6/19 (水)	▲ 1,000	+ 7,000	+ 6,000		貸出増加支援 + 63,200		日: 日銀金融政策決定会合議事要旨 (4月25日・26日分) 日: 貿易収支 (5月)
6/20 (木)	▲ 1,000	+ 68,000	+ 67,000	国庫短期証券発行償還 (1Y) 国債償還 (5年・10年・20年)			米: 経常収支 (1Q) 米: 新規失業保険申請件数 (6月15日終了週) 欧: ユーロ圏消費者信頼感指数 (6月)
6/21 (金)	▲ 2,000	▲ 23,000	▲ 25,000	国債発行 (5年)			日: 全国CPI (5月) 米: S&Pグローバル製造業・サービス業・総合PMI (6月) 欧: 製造業・サービス業・総合PMI (6月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比7,000億円増加の539兆1,100億円から始まった。その後、年金の払い等の要因により増加し、14日は547兆8,600億円 (速報) で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.078%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばい圏で推移した。

ターム物は1W~1M物を中心に0.15%~0.20%のレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、19日に日銀金融政策決定会合の議事要旨 (4月25日・26日分)、21日に全国CPIの公表などがある。海外では18日にユーロ圏CPI (5月)、21日に製造業・サービス業・総合PMI (6月) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.07 ~ 0.078
1M	0.15 ~ 0.20
2M	0.15 ~ 0.30
3M	0.15 ~ 0.30
6M	0.30 ~ 0.50

<レポ>

足許GC取引は週央まで+0.05%~+0.06%を中心に取引され、輪番オペがオフアされた12日は後場に+0.03%近辺まで低下した。

3m短国の入札があった13日以降は+0.03%~+0.04%で推移し、政策決定会合2日目となる14日は後場に+0.07%~+0.09%まで上昇した。

SC取引は2年438~461回債、5年149~168回債、10年350~374回債、20年180~188回債、30年65~82回債、40年13~16回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.030 ~ 0.050
CP 3M	0.10 ~ 0.25

<CP>

今週の入札発行総額は約10,100億円で、週間償還額の8,800億円を上回った。発行残高は先週末時点の23兆8,932億円から6月13日時点で23兆9,398億円に増加した。発行市場は卸売業、不動産業、小売業、建設業、機械などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは銘柄や期間等によりばらつきが見られ、1M物から3M物で0.1%台前半から0.25%近辺での出合いであった。

来週の償還額は、約6,700億円となっている。発行市場は、発行体の四半期末に向けた有利子負債圧縮目的から、償還見合いの落ち着いたマーケットになると予想される。発行レートは、引続き0.1%台前半からの出合いと予想する。

CP等買入オペは12日に、予定通り3,000億円でオフアされた。結果は按分レート0.158% (前回0.161%)、平均落札レート0.186% (同0.177%) と前回比で按分レートが上昇した一方で、平均落札レートが低下した。

<TDB>

6月13日の3M (1237回債) の入札は、最高落札利回り0.0119% (前回債0.0220%)、平均落札利回り0.0079% (前回債0.0172%) となった。来週の入札は、6月19日に1Y、21日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。